

2025 年度第 9 回価格審査会の開催について

2025 年度 9 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、外部の有識者によって、当財団が発刊・公開する定期刊行物等の掲載価格について、その客観性、妥当性の審査を行うものです。

| | |
|------|---|
| 開催日時 | 2025 年 12 月 12 日(金) 10:00～12:00 |
| 場 所 | 本部 6 F 大会議室 |
| 委 員 | 松田 寛志 日本工営株式会社 流域水管理事業本部 本部長 石井 修一 東日本建設業保証株式会社 経営企画部 副部長 遠藤 和重 一般財団法人日本建設情報総合センター システム事業部門 コリンズ・テクリスセンター長 鈴木 由香 株式会社日本設計 コスト設計部長 星野 正 東日本旅客鉄道株式会社 東京建設プロジェクトマネジメントオフィス プロジェクト支援ユニット プロジェクト予算 マネージャー(総括) |
| 当 会 | 共通資材調査部 部長：小林 法雅、次長：南 昌宏 建築調査部 部長：高橋 俊一、次長：岩井 卓矢 監査審査室 室長：黒澤 昭浩 調査統括部(事務局) 部長：大澤 勝、課長：本間 哲 |

☐2025 年度第 8 回価格審査会議事録(案) 確認

☐2025 年度第 9 回価格審査会審議資料説明

| 審議資料の説明 |
|---|
| <p>1. 「建設物価」1月号、「Web 建設物価」1月号</p> <p>「土木コスト情報」冬号、「建築コスト情報」冬号の価格調査の入稿状況</p> <p>・ 価格が上伸した資材（工事費）</p> <p>【Web 建設物価】</p> <p>レディーミクストコンクリート（普通セメント使用）（北見市ほか19都市）、再生砕石類（佐伯市ほか14都市）、PHCパイプ（甲府市ほか1都市）、アスファルト混合物（新宮市ほか2都市）、インターロッキングブロック（水戸市ほか8都市）、建築用コンクリートブロック（東京都23区ほか1都市）、燃料油・灯油（札幌市ほか45都市）ほか</p> <p>【土木コスト情報】</p> <p>＜市場単価＞鉄筋工（沖縄県）、インターロッキングブロック工（茨城県ほか8都市）、防護柵設置工（ガードレール）（全国）、防護柵設置工（横断・転落防止柵）（全国）ほか</p> <p>＜土木工事標準単価＞橋梁塗装工（全国）、構造物とりこわし工（福井県ほか6都市）、連続繊維シート補強工（福井県ほか6都市）、道路反射鏡設置工（北海道ほか46都市）ほか</p> <p>【建築コスト情報】</p> <p>＜単位施工単価＞鉄筋工事（全国）、圧接工事（全国）、型枠工事（全国）ほか</p> <p>＜市場単価＞鉄筋工事（鳥取市ほか11都市）、コンクリート工事（打設手間）（高松市）、コンクリート工事（ポンプ圧送）（東京都23区）型枠工事（青森市ほか14都市）ほか</p> <p>＜標準施工単価＞鉄筋工事（札幌市ほか8都市）、型枠工事（仙台市ほか6都市）、耐火被覆工事（全国）、石工事（東京都23区）、木工事（全国）ほか</p> |

- ・価格が下落した資材（工事費）

【Web 建設物価】

鋼板（福井市ほか7都市）、燃料油・軽油等（全国）ほか

【土木コスト情報】

＜土木工事標準単価＞橋梁塗装工（全国）、構造物とりこわし工（全国）、コンクリートブロック積工（全国）、表面被覆工（コンクリート保護塗装）（全国）、表面含浸工（全国）、連続繊維シート補強工（全国）ほか

【建築コスト情報】

＜標準施工単価＞土工事・不足弁償金（親ぐい横矢板工法）（全国）、土工事・不足弁償金（山留め支保工）（全国）、照明器具工事（全国）ほか

2. 比較資料

- ・企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明

| 審議事項 | 委員の意見、質問 | 建設物価調査会説明・回答 |
|------|---|---|
| 質問 1 | 解体工事は価格変動がない状況が続いているが、対象工事はどのようなものか。また、現在の状況について教えてほしい。 | 建築コスト情報に掲載されている解体工事は、特殊な工法や大規模な重機を要するようなものではなく、一般的な木造や非木造（RC 造、S 造）建築物などの標準的な施工条件を対象としている。現在の状況としては、公共工事などの一部工事では値上がりが確認されるケースもあるが、民間工事を中心に、全体的な価格変動は見られない横ばいの状況が継続している。価格変動が実態として確認され次第、速やかに誌面に反映していく。 |
| 質問 2 | 防護柵設置工、道路標識設置工、鉄筋挿入工の値上がりに対する補足コメントには、いずれも「専門工事業者の値上げが浸透」と共通した記載があり変動率も大きい。これらは同じ業種の専門工事業者群なのか。また値上げの理由を教えてほしい。 | 防護柵設置工と道路標識設置工は、道路標識設置工事等を専門とする同種の工事業者によって施工される工種である。一方、鉄筋挿入工は法面工事等を専門とする別の工事業者によって施工される工種である。値上げの主な要因は、労務費の上昇に加え、各工事で使用される材料の価格上昇である。これらの影響により、前回秋号調査と比較して、比較的大きな価格変動となった。 |
| 質問 3 | 建築・土木分野で BIM・CIM のデータに資材の属性情報を組み込み活用する動きがあるが、建設物価調査会としての対応や取り組みはあるか。 | 当会では「i-部品 Get」という CAD データライブラリを運営しており、コンクリート製品等の 3 次元モデルデータを提供している。また、国土交通省や業界団体が行っている各種委員会等への参加やアンケート回答等を通じて、情報収集や意見表明を行っている。 |

| | | |
|------|--|--|
| 質問 4 | 近年、11～12 月前後に国の補正予算が成立するケースが続いているが、これらを理由とした建設資材に共通して見られる影響や価格変動はあるか | 建設資材価格は様々な要因で変動するため、補正予算が直接的に価格変動を引き起こす関係性は薄い。ただし、補正予算によって需要が下支えされることで、間接的に価格上昇を促す側面はある。個別資材の価格動向を補正予算と直接結びつけて捉えることは難しい。 |
| 質問 5 | 鋼材関連で、H 形鋼や異形棒鋼は値下がりしていないが、鋼板だけが下落している背景を確認したい。 | H 形鋼や異形棒鋼は値下がりが続いた後、下げ止まりの状況となっている。メーカーの値上げ表明により下落感が弱まり、底入れ感が出てきた。一方、鋼板は輸入材の影響を受けており、特に競争の激しい西日本では下落傾向が続いている。ただし、先行き市況は横ばいの見通しである。 |
| 質問 6 | 樹木価格の変動について、これまであまり変動がなかった印象だが、現在の状況と今回の値動きについて教えてほしい。 | 樹木は新設道路工事や公園整備事業の減少により需要が弱く、生産者も減少傾向にある。生産者は事業を継続するため、生産コストや輸送コストを価格に転嫁せざるを得ない状況であり、ここ 3 年間は小幅ながらも継続的な値上げが続いている。一方、値上げに伴い樹木のサイズ縮小や樹種変更で対応されるケースもあり、粘り強く交渉を続けている。 |
| 質問 7 | 新潟地区の袋セメントが値上がりすると同時に道路用コンクリート製品も値上がりしている。これらの製品の値動きは連動しているのか。 | 袋セメントと道路用コンクリート製品は、原材料であるセメント価格の上昇という共通の要因はあるものの、価格動向が連動しているわけではない。袋セメントは比較的小規模な建材店や特約店が扱う一方、道路用コンクリート製品はバラセメントを使用する工場で製造されており、流通経路や販売先が異なる。 |
| 質問 8 | レディーミクストコンクリートの福岡地区が上伸している背景は何か。 | 福岡地区は、員会社との競合などにより値上げの進展が遅れていたが、再開発事業などによる需要の増加を背景に、原材料価格の上昇を受けて、採算重視の姿勢に転換し、値上げ交渉が進展した。 |
| 質問 9 | 電線価格は、主原料である銅価格の上昇を背景に上昇傾向にある。一方で、このような状況下において、銅製からアルミ製への移行が進んでいるとの報道も見られる。こうした材料転換が、電線価格にどの程度反映されているのか。 | 銅製からアルミ製への切り替えは一部で検討されているものの、本格的な移行には至っていない。今のところ、銅電線価格への影響はほとんどないが、今後も引き続き市場動向を注視する必要がある。 |

| | | |
|-------|--|--|
| 質問 10 | 上下水道の埋設管関連の価格動向は、老朽化対策工事の増加を背景に、変化が見られるのか。 | 全国的に上下水道の更新工事が順次進められており、埋設管関連の需要は概ね一定水準を維持している。鋼管、塩ビ管、ダクトイル鋳鉄管など管種は多岐にわたるが、昨年度から今年度にかけて輸送費上昇を背景に価格上昇の動きが見られる。 |
| 質問 11 | レディーミクストコンクリートの藤枝地区における「設備維持費の増加」を理由とした値上げについて、需要家の理解は得られたのか。 | 藤枝地区では需要減少が続いており、出荷量の減少に伴ってメーカー側の設備維持費負担が増加している。一方、需要家側は、生コン工場の存続が地域の建設工事に不可欠であるとの認識が共有されており、今回の値上げ理由および価格水準について、一定の理解が示されている。 |
| 質問 12 | 異形棒鋼、H 形鋼について、札幌・那覇は本州と価格差が大きく、値動きも異なっているが、その理由を教えてください。 | 異形棒鋼は地場メーカーによる地域内販売が中心で、札幌・那覇はメーカー数が少なく競争が限定的なため、価格が高止まりしやすい。H 形鋼は本州からの輸送・在庫販売が多く、輸送コストの上乗せと在庫調整のタイムラグにより、本州より遅れて価格が動く傾向がある。 |
| 審議結果 | 「建設物価」1 月号、「Web 建設物価」1 月号 「土木コスト情報」冬号、「建築コスト情報」冬号の価格動向に問題はなかった。 | |

以 上